

KanHeKyo

・年頭挨拶 …	•••••		•••••	·· 会	長	官之本昭二	1
•年頭挨拶 …			•••••	… 千葉県	知事	森田健作	2
・協議会活動		•••••	•••••	… 臨時総	会、協	協議会活動	3
・行政ニュース	ζ		葉県を	対象とし	たPN	/ 12.5 高濃度	
			現象	後の調査の	ヒ解析	について」	5
	•••••	「生物多様性も	ば企業	ミネット!	フーク	について」	7
・新会員紹介		·····(株)	日甲:	浜野リサ	イクル	レセンター	9
		•••••	•••••	千葉	オイし	ノッシュ(株)	10
• 協議会活動			;	地域部会	活動、	渉外活動	11
	・年頭挨拶 ・・ 協議会活動・行政ニュース・新会員紹介	・年頭挨拶・協議会活動・行政ニュース・新会員紹介	・年頭挨拶・協議会活動・行政ニュース「生物多様性を・新会員紹介(株)	 ・年頭挨拶 ・協議会活動 ・行政ニュース ・行政ニュース ・現象 ・「生物多様性ちば企業 ・新会員紹介 (株)日甲 	・年頭挨拶 千葉県 ・協議会活動 臨時総 ・行政ニュース 「千葉県を対象とし現象の調査。 現象の調査。 「生物多様性ちば企業ネット」 ・新会員紹介 (株)日甲 浜野リサーチ葉	・年頭挨拶 千葉県知事 ・協議会活動 臨時総会、数 ・行政ニュース 「千葉県を対象としたPM 現象の調査と解析 「生物多様性ちば企業ネットワーク ・新会員紹介 (株)日甲 浜野リサイクリー・千葉オイト	 ・年頭挨拶 千葉県知事 森田健作 ・協議会活動 臨時総会、協議会活動 ・行政ニュース 「千葉県を対象としたPM25 高濃度 現象の調査と解析について」 ・新会員紹介 (株)日甲 浜野リサイクルセンター 千葉オイレッシュ(株)



あいさつ



会 長 **宮之本昭二** 日本板硝子㈱千葉事業所

明けましておめでとうございます。 お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。 年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

が歴史的3勝をあげるなど明るい出来事も忘れてはなりません。

昨年を振り返りますと、台風17号などの影響により関東及び東北地方で発生した豪雨によって茨城、栃木、宮城の3県では多くの被害が発生致しました。中でも茨城県では鬼怒川の堤防が決壊し、常総市では40平方kmにわたって浸水致しました。

また、鹿児島県屋久島町口永良部島では爆発的噴火があり、箱根山、桜島、阿蘇山などでも火山活動が活発化致し、全国的に見ても多くの自然災害が発生した年でもありました。 一方、ノーベル生理学・医学賞及び物理学賞を日本人が受賞したり、ラグビーW杯では日本

世界的な規模では年末にCOP21が開催され、2020年以降の地球温暖化対策の新たな枠組が採択され、今回は途上国を含む全ての国が温室効果ガスの削減に取り組むという画期的なものとなりました。

その他、今日の環境問題として、廃棄物処理、水・大気(PM2.5含む)・土壌汚染といった 生活環境保全も多くの課題が残っております。このような状況の中、当協議会は各産業、企 業の枠を超えて、環境保全活動に積極的に取り組む意義と必要が大いにあるものと認識して おります。

当協議会は、諸先輩並びに関係各位のご尽力により着実に成果を挙げ、環境保全に関する種々の取り組み、公害防止管理者等の育成、会員相互の交流・啓発・情報交換等を行って参りました。引き続き、各行政様のご指導を賜りながら、また会員の皆様のご意見・ご要望を丁寧にお伺いしながらしっかりと任務を遂行したいと思っております。

最後に、本年の各会員企業の皆様方の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げるととも に、今後も当協議会に一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭の 挨拶とさせて頂きます。

平成28年1月1日

あいさつ



千葉県知事 森田 健作

明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県環境保全協議会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお 慶び申し上げます。

昨年は幕張メッセが2020年東京オリンピック・パラリンピックの7競技の競技会場に決定したほか、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の神崎~大栄間開通など、本県の発展に向けて明るい話題が続きました。

本年は、リオ・デ・ジャネイロ オリンピック・パラリンピックが開催され、それが終わる と、いよいよ東京にバトンが引き継がれます。

県としても、大会の成功に向け、競技会場や周辺の環境整備、開催機運の醸成などの取組を進めるとともに、この絶好のチャンスを本県の持続的な発展に繋げられるよう、観光地の魅力アップや、人と物の流れを支える社会基盤の整備、安全・安心に過ごせる県づくりなどに取り組みます。

環境分野については、「第8次千葉県廃棄物処理計画」が最終年度を迎えたことから、国の「第3次循環型社会形成推進基本計画」を踏まえて、今年度末までに新たな計画を策定いたします。

また、昨年12月に、パリで開催されたCOP21(気候変動枠組条約第21回締約国会議)において、温室効果ガス削減に向けた新たな枠組みが合意されました。国では、この合意内容を踏まえた新たな温暖化対策計画を策定することとしており、本県においても、国の削減目標に地域から貢献するため、県民や市町村、事業者の皆様の御意見を伺いながら、地球温暖化対策に係る実行計画を、平成28年度前半を目途に策定する予定です。

本年は、県の総合計画「新 輝け!ちば元気プラン」実施計画の総仕上げの年です。千葉の未来を担う子どもたちや孫たちのために、首都圏、そして日本をリードする「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協議会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

協議会活動

臨時総会

11月5日(木) 於:千葉県自治会館

企業内の人事異動により、役員の変更があったため、臨時総会を開催しました。

今回代表理事・会長、理事、監事の3名の方の変更がありました。



臨時総会の様子と議長を務めた 日本板硝子㈱千葉事業所の江口浩代表理事

変更のあった3名の方の役職名と氏名

役員の名称	尓	新		П				企業名	
代表理事(会	会長)	宮之る	本昭二	岩	瀬	勇	次	日本板硝子㈱千葉事業所	
理	事	石 井	博	脇	本		進	(株)フジクラ 佐倉事業所	
監	事	植松	謙一	土	田	雅	昭	丸善石油化学㈱千葉工場	

廃棄物関係管理者研修会(施設見学会)

10月22日(木) 見学先:JFE環境(株)〔横浜市鶴見区〕

昨年度に引き続き「低濃度PCBの無害化処理」を テーマに、2013年12月に大臣認定を取得した「J F E 環境株式会社」を見学しました。

低濃度 P C B の無害化処理には会員の関心も高く、募集案内からほぼ一週間で定員の40名を超えるに至りました。

また、2013年10月に「水銀に関する水俣条約」の採択、更には昨年6月これに対応する国内法「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が公布されたことから、「廃蛍光灯のリサイクル施設」も合わせて見学しました。





低濃度PCB無害化処理装置工程の説明



廃蛍光灯リサイクル施設の説明

協議会活動

廃棄物関係管理者研修

8月26日 (水) 千葉市文化センター

- ・産業廃棄物の適正処理について
 - 千葉県廃棄物指導課 副主査 大島 史寛 氏
- ・産業廃棄物の不適正処理事例について 千葉県廃棄物指導課 副主査 龍頭 克典 氏
- ・残土・汚染度の取扱いと関係法令

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 片山 和俊 氏

公害防止管理者研修(水質関係)

9月30日(水) 千葉県自治会館

・有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵施設 に係る法改正への対応状況

千葉県水質保全課 副主査 米村 真吾 氏

- ・公共用水域の水質測定結果
 - 千葉県水質保全課 班長 在原 潤 氏
- ・土壌・地下水汚染の現状と対策

(一社) 土壌環境センター技術委員会 日笠山 徹巳 氏

他、11月(騒音振動悪臭関係)、12月(実務講習)を開催しました。



ISO14001内部環境監査員養成セミナー

(12月1日(火)、2日(水) 於:千葉県教育会館)

講師:㈱品質保証総合研究所(JQAI)

主席講師(工学博士) 牧野 弘史 氏

昨年9月に2015年改定版が、そして11月にはこれの JIS版が発行されました。いよいよISO14001は、従来の 単なる「環境パフォーマンスの改善」型から事業活動本 来の目的である「成果重視」型へと移行されます。

新規格の意図・求めるものについて真剣に学習しました。



牧野先生の講義に始まります。



グループに分かれてディスカッション



ロールプレイの成果を発表します。



千葉県を対象としたPM2.5高濃度現象の調査と解析について

千葉県環境研究センター

1 はじめに

近年、環境問題となっているPM_{2.5}について、初めて県内で注意喚起情報が出た2013年11月の例および高時間分解能測定をおこなった2014年の例、二つの高濃度現象事例について紹介します。

2 東日本初のPM2.5注意喚起が千葉県で!

2013年11月4日、PM2sが市原市内における 3 測定局で、午前5時から7時までの 1 時間値が85 μ g/m³を超え、国が定めた注意喚起のための暫定的な指針(暫定指針)の値、日平均値70 μ g/m³を超えるおそれがでました。このため、暫定指針に基づき、千葉県として初めて全県を対象に注意喚起をおこないました。なお、この注意喚起は、東日本でも初めてのものでした。気象的に見ると11月3日夜、高度100m付近まで気温逆転層が確認され、汚染物質が拡散しにくい状況で、湿度も上昇し始めたため、PM2sやSPMの濃度が上がりやすい条件となり、全県下で濃度の上昇が見られました。風の動きを見ると、4日2時頃に千葉市中部から南部にかけての地域に弱い風の収束域が形成され、千葉市南部においては2時から3時にかけてPM2sの濃度のピークが出現していました(図1)。その後、市原市まで北寄りの風が侵入し、これとともにPM2sの高濃度域も南下し、市原市北部を中心とした地域で高濃度になりました。その後は北寄りの風が続き、風が発散する状況になったため、市原市各局のPM2s濃度が低下したものと考えられました。このように市原市を中心にPM2sが特に高濃度になったのは、大気汚染物質が拡散しにくい気象条件だったことに加え、局地的な風の収束域ができ、汚染気塊が発生し移動したことによるものと考えられました。

PM2.5濃度は単位体積あたりの重量で評価しているため、どのような成分であるかは採取した試料を分析しないとわかりません。注意喚起が発令された当該期間は、PM2.5成分分析の調査期間中で、市原市岩崎西(一般環境:高濃度となった3局から4.5~5.5kmに位置)と勝浦市小羽戸(バックグラウンド)において24時間単位のサンプリングをおこなっていました(採取装置:FRM2025i,採取条件:16.7L/min)。図2に注意喚起が発令された2013年11月4日の前後約1週間の市原市岩崎西での、PM2.5日平均値(自動測定機の測定値)と主要成分の分析結果の推移を示します。11月3日から4日にかけてNO3・とNH4+の割合が増加していることが特徴的でした。また、同期間の勝浦市小羽戸における成分分析の測定結果では、NO3・およびNH4+以外の成分が市原市とほぼ同様な増減傾向を示していたことから、NO3・やNH4+による地域的な汚染が今回の高濃度現象の一因として考えられました。また、市原市岩崎西で



図1 2013年11月4日2時の流線図とPM2s濃度 数値はPM2s濃度(μg/m³) 矢印は風の流れ、破線は風の収束域



図2 2013年10月28日から11月8日における 岩崎西局でのPM25質量濃度日平均値と主要成分の推移



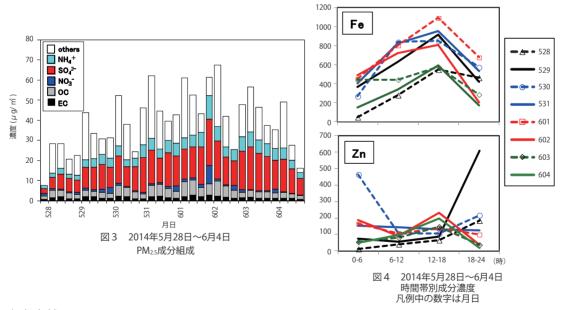
バイオマス燃焼の指標物質であるレボグルコサンを分析しており、当該期間において濃度が相対的に高くなっていたことから、バイオマス燃焼の影響も示唆されました。

3 時間分解能を上げた、より精密な調査もおこないました。

通常は図2のように24時間を単位とした試料採取をおこなっていますが、成分組成の変動をより細かい時間で考察するために、高濃度となりそうな期間を予想して、市原市岩崎西で6時間単位を基本とした試料採取と成分分析をおこないました。このうち2014年5月25日から6月5日までの期間、調査した例について紹介します。

期間中41試料が採取されましたが、このうち半数近くの20試料で35 μ g/m³(6 時間平均値)を超え、成分分析をしたところ図3の結果となりました。PM25濃度は5月28日から6月2日頃まで徐々に上昇し、その後減少傾向へと転じました。この間、昼間に上昇し夜間に低下するという日変化を繰り返しながら、継続的に高濃度となっていました。組成成分のうち最大のものは SO_4^{2-} で3~5割を占めていました。 NO_5 は全般的に低い濃度ながらも、早朝に高くなるケースがありました。有機炭素(OC)、元素状炭素(EC)については、 PM_25 濃度変化に連動している傾向が認められました。

図4にFe, Znの日内の濃度変化を示しました。FeはPM2.5濃度と同様に昼間に上昇し夜間に低下するという日変化が見られ、Fe以外にMn、Niなどの項目でも同じような変化を示しました。この期間のPM2.5濃度の上昇は千葉県だけでなく全国的にも見られ、広域的な濃度上昇分に加え、関東地方規模での海陸風等の気象による汚染物質の動きが反映されていたものと考えられました。一方、ZnのようにFeのような日変化が見られず、散発的に高濃度となる例もあることから、物質によっては、よりスケールの小さいローカルな発生源の影響を受けていることが推察されました。



参考文献

千葉県環境研究センター:微小粒子状物質(PM2.5)の測定方法と常時監視結果について、環境保全協議会 会報第91号,11-12 (2014)

千葉県:平成25年11月4日に微小粒子状物質 (PM25) に係る注意喚起を行いました,報道発表資料,(2013).

市川有二郎、井上智博、大橋英明、渡邉剛久、石井克巳、内藤季和:2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県のPM25高濃度エピソードの要因推定,大気環境学会誌,50(3),152-165 (2015)

石井克巳、堀本泰秀、市川有二郎:千葉県市原市におけるPM2.5高濃度予測に基づく高時間分解能測定,第56回大気環境学会年会講演要旨集,433,(2015)

<u>行政ニュー</u>ス②

地球のいのち、つないでいてう 生物多样性



「牛物多様性ちば企業ネットワーク」について

千葉県環境生活部自然保護課

企業と生物多様性とのかかわり

皆さんは、「生物多様性」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべますか。

人間を含むすべての生物は、大気・水・土などで構成される地球環境の中で他の多くの生 物と関わり合いながら生きています。こうした生物の豊かなにぎわいとつながりが「生物多 様性」です。

企業活動においても、資源としての直接的な利用から、生物が生み出した環境を利用する 間接的な利用まで、様々な場面で生物多様性の恩恵を受けています。一方で、企業活動は資 源の枯渇や生態系の破壊、外来生物の侵入などを招く場合があり、生物多様性の保全と持続 可能な利用のためには、企業の取組が重要となっています。

2 千葉県による企業への取組支援

県では、企業の皆様に、生物多様性に関する情報や企業による先進的な取組事例などを提 供するため、(一社)千葉県環境保全協議会と(一社)千葉県経済協議会との共催で、平成 21年度から「企業と生物多様性セミナー」を開催しています。

また、平成25年4月には「生物多様性ちば企業ネットワーク」(以下「ネットワーク」と いう。)を立ち上げ、企業による生物多様性の保全及び持続可能な取組を推進するための支 援を行っています。

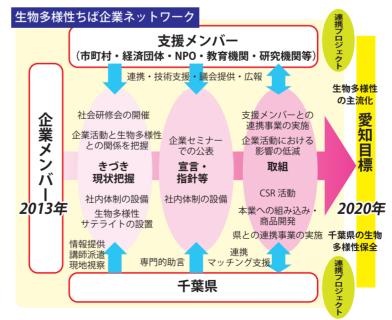
3 ネットワークの概要

ネットワークでは、生物多様性に関する情報・ノウハウ・課題等を共有し、企業メンバー の生物多様性に関する取組を推進しています。

ネットワークは、企業メンバー(企業、複数の企業からなる団体)、支援メンバー(地方

公共団体、大学、NPO等 の団体)及び千葉県から構 成されており、現在、企業 メンバー14社、支援メン バー6団体が参加していま す。

ネットワークの活動は、 「自然と共生する社会」の 実現を目指す「愛知目標」 (生物多様性条約締約国に よる世界目標で、2020年 を期限としている)の達成 に貢献することを目標とし ています。





具体的には、生物多様性に配慮した企業活動に関する情報提供、社内体制の整備への専門 的助言、県との連携事業等を実施しています。

また、県では、企業の様々な取組に対し各種支援を行っています。

【企業の取組の事例】

- ・社員研修会や社内報を活用した生物多様性に関する情報の共有
- ・企業活動やCSR活動等を通じた生物多様性の保全の取組
- ・HP等での生物多様性に関する取組の公表
- ・生物多様性に関する宣言・指針等の策定

【県の支援の事例】

生物多様性に関する情報提供・講師の派遣・助言等

企業メンバーの取組状況に応じた生物多様性に関する各種の情報提供、社員研修会 への講師派遣、勉強会の開催、生物多様性に関する宣言・指針・計画への助言を行っ ています。

企業メンバー間の生物多様性に関する取組等の情報共有

生物多様性の理解や保全に向けた取組を進めるための参考事例・課題・ノウハウに 関する情報交換や企業メンバーの取組発表等の機会や場を提供しています。







平成27年7月28日(火) 開催の勉強会では、 企業メンバーが造成した都心のビオトープの視察を行いました。

県ホームページでのPR

千葉県生物多様性センターホームページの「生物多様性ちば企業ネットワーク」のページ で参加企業を紹介しています。今後各企業の取組事例なども掲載し、内容を充実していく予 定です。

「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業の募集について

県では、ネットワークへの参加を募集しています。まずは「千葉県生物多様性センター」まで気 軽にお問い合わせください。

□問合せ先

千葉県生物多様性センター

TEL:043-265-3601 FAX: 043-265-3615 E — mail: webmaster@bdcchiba.jp http://www.bdcchiba.jp/cooperation/kigyou/network/kigyounetwork.html ※参加(申込)をご希望の場合は、上記HP内の参加連絡書に必要事項を記載の上、メール又は FAXにてお送りください。

会員紹介



株式会社日甲

浜野リサイクルセンター

廃棄物の燃え殻等を優良建設骨材にリサイクル

浜野リサイクルセンターでは、産業廃棄物のリサイクル推進、資源循環等環境への貢献を経営理念に、産業廃棄物である燃え殻・鉱さい・ばいじんを管理型処分場で処分せずに、多年にわたり培ってきたリサイクル技術と設備とで優良建設骨材(再生砕石、再生砂)に加工しています。

有害物質の完全封鎖と品質試験の徹底

加工において、燃え殻・鉱さい・ばいじんに含まれるダイオキシン類及び重金属等の溶出を特殊固化材とセメントの相乗効果により完全に封鎖することで安全無害の建設骨材として製品化しております。

製品については、品質試験(社内の溶出試験及び第三者機関によるサンプリング、分析検査)により国の定める環境基準値以下であることを確認してから出荷しています。



会員紹介



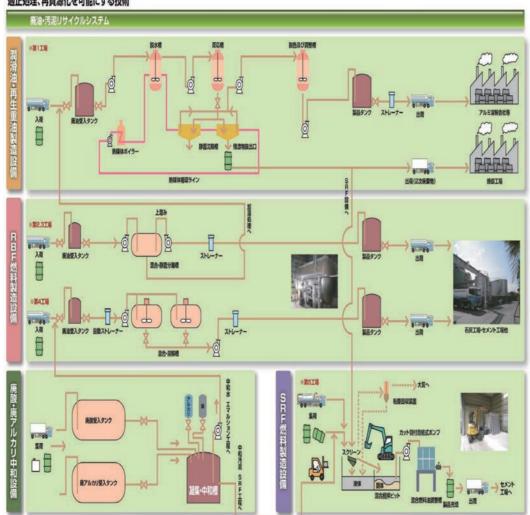
千葉オイレッシュ株式会社

chiba oilshu.co.LTD

廃棄物を未来の資源へ

当社は、処理方法に問題を抱える廃油・引火性廃油などを油種や劣化程度に関係なく画一的化された方法を用い、短時間・低コスト・無公害に再生することを中心にその他、廃酸・廃アルカリの中和処理リサイクル、更にはスラッジ(汚泥)の再資源化を可能にする再生混合燃料汚泥施設、スラリーリサイクル燃料「SRF」の施設稼働など総合的な環境処理と再資源化事業を展開しております。

適正処理、再資源化を可能にする技術



潤滑油・再生重油燃料

潤滑油の再生技術を利用し、低コストに燃料化。アルミ溶解会社、焼却工場等へ出荷

RBF燃料 (リサイクルブレンド燃料) ※商標登録『RBF燃料』第5503692号

- 1. 水を含まない溶剤系のハイカロリー混合燃料を製造。石灰・セメント工場等へ出荷
- 2. 水を含んだ低炭素のクリーンなエマルジョン燃料を製造、出荷(CO2削減に大きく寄与します)

SRF燃料(スラリーリサイクル燃料)

今までに単純焼却していた固形状・汚泥系を燃料化し、石炭代替燃料を製造。セメント工場へ出荷

地域部会活動

地域部会では、各地域に密着した環境情報の収集、環境保全に関する講演聴講による研修、企業の環境への取り組み状況の把握を主眼とした工場見学会、部会長から部会員への(一社) 千葉県環境保全協議会の活動状況報告、地域行政との環境イベントの協働運営に関すること 等々、いろんな方面について、活発な活動が展開されています。

第1回市原部会

【開催日:8月28日】

- 1. 前年度の活動実績及び本年度の事業計画
- 2. エコいちはら実施報告
- 3. 講演
 - (1) 「市原市の水質保全について」

講師:市原市環境管理課係長 末吉雅樹氏

(2) 「平成26年度大気環境状況について」

講師:千葉県大気保全課 副課長 熱田 みどり氏



第1回市原部会の様子 講師は、千葉県大気保全課 副課長 熱田 みどり 氏

第1回東葛北部部会

【開催日:9月4日】

- 1. 事務連絡
- 2. 講演

「気候変動影響と適応策について」 講師: NECファシリティーズ株式会社 管理部 染谷 正行 氏

第1回長生夷隅安房部会

【開催日:9月24日】

- 1. 会員会社の近況報告
- 2. 施設見学会 日産自動車株式会社横浜工場



第1回東葛北部部会の様子 講師は、NECファシリティーズ 染谷 正行 氏

第1回船橋部会

【開催日: 9月25日】

- 1. 会員企業自己紹介
- 2. 講演

「船橋市の生物多様性地域戦略策定に向けて」

講師:船橋市環境政策課

課長補佐 岩田 治 氏

第1回君津部会

【開催日:10月1日】

- 1. 前年度の事業報告、27年度の事業計画
- 2. 講演

土壌汚染対策規制の変遷とその背景

講師:千葉県水質保全課

技師 菅野 翔太 氏



第1回君津部会の様子 講師は、千葉県水質保全課地質環境対策班 技師 菅野 翔太 氏

地域部会活動

習志野八千代、印旛香取、海匝山武 三部会の合同部会

【開催日:10月2日】

- 1. 事務連絡
- 2. 講演

「平成26年度大気環境概況について」 講師:千葉県大気保全課

副課長 松本 邦男 氏

3. 施設見学会

東京ガス株式会社 袖ケ浦LNG基地



習志野八千代・海匝山武・印旛香取の三部会 合同部会で講演される 千葉県大気保全課 副課長 松本 邦男 氏

第1回松戸部会第2回松戸部会

【開催日:7月30日】

【開催日:11月20日】

第1回

- 1. 工業部会環境対策委員会の事業推進について
- 2. 事務連絡
- 3. 松戸市環境部からの連絡 「松戸市≪減CO2=げんこつ≫大作戦」

第2回

視察見学会

東京ガス株式会社袖ケ浦LNG基地



第2回松戸部会参加者

涉外活動

第20回エコメッセ2015 inちば

【開催日: 9月23日(金)】

「エコメッセ in ちば」は、持続的な社会構築の実現を目指して、市民、企業、学校、行政による連携・協働の取組を促進し、活動の普及・啓発を目的とする千葉県最大級の環境イベントです。

今年は、「つながれ、ひろがれ エコメッセ ~エコっておもしろい~」をテーマに、20回目の開催となりました。

協議会では、当イベントに協賛する



多くの来場者でにぎわう展示場 〔幕張メッセにて〕

と共に、実行委員、ボランティア等として参加しました。

ちなみに今年の出展団体数は112団体にのぼり、また来場者数は12,000人と公表されています。



挑戦・柔軟・誠実 JFE スチール

JFEスチールは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。



ウェアラブル機器の小型・薄型、低消費電力化に貢献する半導体製品やワイヤレス給電ソリューションなどをご提供します。

セイコーインスツル株式会社

千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261-8507 電話番号: 043-211-1111(代表) http://www.sii.co.jp/



第15回千葉県廃棄物適正処理推進大会案内

1 趣

循環社会の構築に向けて、廃棄物の減量化・再資源化をより一層推進し、県民から信頼される適正 処理を確保するため、県民事業者をはじめ関係者が一堂に会し、廃棄物処理に対する認識を一層深め ることを目的として開催されます。

2. 開催日

平成28年2月5日(金) 12:30 ~ 16:00

3. 開催場所

千葉市文化センター「アートホール」(千葉市中央区中央2-5-1)

4. 千葉県循環型社会形成推進功労者等の表彰

産業廃棄物排出事業場において、廃棄物処理業務に多年にわたり従事し、適正処理に大きな功績が あった方に対して、千葉県知事、千葉県環境生活部長からの感謝状の贈呈等があります。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。

■ 編集後記 ■

新年明けましておめでとうございます。

昨年も何かと話題となった2020年東京オリンピックですが、その新競技候補に『スカッシュ』がありました。残念ながら昨年、新競技に採用されなかったとの報が入りましたが、実はこのスカッシュ、私が大学時代に始めて卒業以後も細々と続けていたスポーツでしたが、業務多忙を口実に3年前から止めてしまっていました。毎年、11月頃に新年の抱負を何となく考えるのですが、オリンピックで話題に出たことや50を過ぎて体力衰退を感じていたこともあり、さぼっていたスカッシュを新年から"何とか"再開しよう!と決めました。

ただし、過去を振り返ると新年から始めようと決めたにもかかわらず、決めた通りに始まった例(ためし)が無いのを反省して、今回ばかりは新年からと言わず年が明ける前から実行するとの例年に無い強い意志で12月から週1回のペースで競技復帰しました。

それはさておき、同じ12月にCOP21で採択されたパリ協定。設定されたCO2排出量の長期目標をみますと"できるだけ"早くピークアウトする。とあり、何やら誰かの新年の抱負よろしく、頼りないひとこと。ただ、ピークアウト自体は恐ろしく高いハードルです。日本も決めたからには過去に無い強い意志で"できるだけ"早くに甘えずにやれることを早期に開始すべき。いや開始して欲しい。と思うこの新年です。

N.K

会 報 第 9 4 号

発行年月 平成28年1月

発 行 者 一般社団法人 千葉県環境保全協議会 会 長 宮之本 昭二

> 千葉市中央区長洲 1-15-7 森林会館内 電話 043(224)5827

印 刷 株式会社 アイポップ 千葉県長生郡睦沢町上市場1831 電話 0475(40)3700

編集委員

JFEスチール㈱、セイコーインスツル㈱ 旭化成ケミカルズ㈱、アズマプレコート㈱

表紙写真:

タイトル 「犬吠崎灯台初日の出」 ㈱フジクラ 大久保 明 氏 提供

事務局からのお知らせ

会報表紙写真の募集をします (随 時)

会報"kanhokyo"は、表紙写真を会員の みなさまから募集致します。

2回発行の夏号(8月)と新春号(1月) の表紙写真としてふさわしい作品を編集 委員会にて選考させて頂きます。

掲載にあたっては、薄謝を贈呈致しますのでふるってのご応募をお待ちします。